

とりまとめコメント

事業名 介護テクノロジー開発等加速化事業

今後、介護サービス需要が高まる一方、生産年齢人口が急激に減速していくことが見込まれる中、介護テクノロジー等を活用し、介護職員の業務負担の軽減及び介護サービスの質の向上・確保に資する生産性向上の取組を推進していくことが重要である。

本事業は、介護分野における生産性向上に向けた取組の一つとして、介護現場のニーズを踏まえたテクノロジーの開発等を加速化するものであり、必要な事業である。

本事業の中で、複数の事業を実施しているが、それぞれの事業の効果をより的確に把握し、事業改善につなげるため、個別の事業毎に活動目標や活動指標を設定していくことが必要であり、事業所管部局からの提案は肯定されるものである。

その際、CARISOに関する指標については、上市製品数とすることも考えられるが、最終的な目的は、他の事業と同様、職員の負担軽減や職場環境の改善であると言えるため、これらも指標として追加することを検討すべきである。

また、現在設定されている指標に加え、働きがいがあることなども含めた Well-being の観点も大切なものであるということを意識しながら事業を進めていくことが重要である。

さらに、今後、介護サービス需要が高まるとともに、生産年齢人口が急激に減速していくことを踏まえると、テクノロジーの活用等を通じた負担軽減や職場環境改善を進めながら、ひとりの介護人材がより多くの利用者に向き合えるよ

うにしていくことも重要であり、その状況の変化を適時のタイミングで把握していくことも求められる。

一方で、現状の指標は、分野毎のテクノロジーの導入率となっていない。それぞれの事業所が必要とするテクノロジーを導入することが適当であることが理由であることは理解するものの、分野毎の普及率には大きな差があることが認められるため、その推移を経時的に把握し、普及率が上昇しない分野については、その原因を把握した上で、必要に応じて、普及率向上のための取組を検討すべきある。

また、中小の事業所も含めた各介護事業所にテクノロジーが導入されることが重要であり、本事業によるテクノロジーの開発支援に加え、各介護事業所のテクノロジー導入を支援する各種事業の推進や、それぞれの事業の連携も進めていくべきである。